

2 収支の状況

(1) 収支概要

令和3年度純利益…… 713,956千円 → 1,298,286千円(対前年度差額)
 (令和2年度純損失……▲584,330千円)

- ・収益については、診療単価の増加や患者の増加により、前年度比で約9.2%の増加となった。
- ・費用については、材料費や給与費の支出増により、前年度比で約3.8%の増加となった。
- ・収支差については、令和2年度の赤字から令和3年度は黒字へと好転した。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3/R2	参 考
収益	234.2	241.8	252	248.0	270.7	109%	診療単価 (R2) (R3)
営業収益	231.1	239.0	249.7	245.9	267.1	109%	入院(重心以外) 89,272円 → 94,528円
うち入院収益	152.8	159.9	165.0	152.9	172.0	112%	入院(重心) 35,142円 → 35,364円
うち外来収益	58.2	59.8	62.7	59.2	64.5	109%	外来 19,050円 → 19,194円
うち運営費負担金	12.3	12.4	14.9	15.6	15.8	101%	
うち補助金収益	1.3	1.1	1.1	12.2	8.6	70%	患者数 (R2) (R3)
うち重症心身障がい児施設収益	1.3	1.7	1.8	1.5	1.7	113%	入院(重心以外) 170,530人 → 180,983人
営業外収益	1.8	2.2	2.3	2.1	2.2	105%	入院(重心) 2,859人 → 3,242人
うち運営費負担金	1.3	1.2	1.2	1.1	1.0	91%	外来 310,685人 → 335,788人
臨時利益	1.3	0.6	0.0	0.0	1.3	-	
費用	233.1	241.5	252.6	253.8	263.5	104%	一般病床利用率 (R2) (R3)
営業費用	222.5	230.2	240.7	240.8	248.9	103%	重心以外 79.2% → 84.0%
うち給与費	102.7	107.1	111.7	116.2	118.3	102%	重心 26.1% → 29.6%
うち材料費	64.9	65.5	70.0	65.1	73.6	113%	
うち経費	29.9	32.8	33.2	33.9	36.3	107%	
うち減価償却費	20.7	20.4	20.9	21.2	15.8	75%	
うち重症心身障がい児施設費用	2.8	3.0	3.6	3.6	3.7	103%	
営業外費用	10.1	10.0	11.8	12.6	13.2	105%	
うち支払利息	1.9	1.8	1.7	1.5	1.4	93%	
うち控除対象外消費税等	8.2	8.2	10.1	11.1	11.7	105%	
臨時損失	0.5	1.3	0.0	0.4	1.4	-	
収支差	1.1	0.3	▲0.6	▲5.8	7.1	-	

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

うち入院収益 (19.1億円増) 診療単価、患者数の増加によるもの
 うち外来収益 (5.3億円増) 患者数の増加によるもの
 うち補助金収益 (3.6億円減) コロナ補助金の減少によるもの

イ 営業費用

うち給与費 (2.1億円増) 職員数の増加によるもの
 うち材料費 (8.5億円増) 患者数、手術件数の増加によるもの
 うち減価償却費 (5.4億円減) 本館設備の減価償却の終了によるもの

ウ 営業外費用

うち控除対象外消費税等 (0.6億円増) 南棟建設費用の前金払い等によるもの